



創立110周年を祝う平成25年東京鳥取県人会総会と懇親の集い。9月16日、東京九段下のグランドパレスで開催された。衣食住の人の気サックス奏者MALTA本名:丸田良昭さん)の特別演奏があり、会長交代をはじめとする大幅役員改選ありと中身は濃い総会と懇親の集いだったが、参加者数は台風18号の直撃を受けて、残念ながら昨年を大幅に下回った。

事前の参加申込者数は、昨年の参加者総数239人に大幅に上回る296人に上り、今年は記録的な数の参加者が期待された。ところが、当日は台風18号の直撃という、いのちの悪天候にたたられ、参加者数は195人にどまつた。

平成25年東京鳥取県人会総会と懇親の集い台風18号直撃で参加者大幅減もMALTA特別演奏会などで華やかに挙行20代目会長に金子亮太郎氏が決まる



題字／故西尾邑次元名誉会員揮毫

第44号

2013年12月20日発行
東京鳥取県人会事務局
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-6-3
都道府県会館10F
電話 03(5212)9178
FAX 03(5212)9079
発行責任者／金子亮太郎
編集／県人会広報部会
<http://www.pref.tottori.lg.jp/tokyokenjin>

▲ MALTAの吹奏で「ふるさと」齊唱

紀さおりさんとのコンビで活躍する声楽家、由紀さおりさんには、由

どうざいます

（本池滋夫）

金子亮太郎新会長の挨拶



9月の総会で、八村義郎前会長（現名誉会長）の後任としてこの指名を賜わりました。

9月の総会で挨拶する金子亮太郎会長

110年にわたる「東京鳥取人会」の歴史の中で諸

事の歴史が築かれてきた伝統

に立てる活動を展開するた

めにも、会員数の増加と財

政基盤の充実を取り組んで

いただける会員相互の親

愛の方に、より深い愛着を

育むための広報活動の充

たまつた。また、新聞真之氏（東部代表）、林

田英樹氏（西部代表）、足立聰郎氏、新

常任幹事の中川浩明、三角幸子氏（以上東

部、福井宏郎・藤田由多恵子氏（同中部）、

勝部日出男・小泉典子氏（同西部）をそれぞれ

選出された。このあと、懇親の集

いの間に、MALTAのミニコンサートが

行われ、「明日に向かって」「フエリーナ

ア」「マンハッタン・イン・ブルー」「コト

ヒールンバ」など計6曲が披露されました。

会場の会員の間で鳥取、倉吉とのゆかりを語り、心よきお祝い申し上げます。主人の故郷が岩美町といつもあり、鳥取県を愛する一人であります。岩美町では、ご当地出身の作曲家、田村虎藏さんの作品を

聴いて、歌を学んでいくことを地

域の皆さんにさせてもらっています。

私たち大人が次世代に残していく努力を

ないと、歌も自然と次世代を越えて残してい

ることでできませんでした。子供たちに語り、歌い継いでいくことを地

域の皆さんにさせてもらっています。

これからも微力ながらお手伝いさせていただきます。本日はおめで

ておりました。

（弁護士・大学教授）

つまでも「先生」として遇

随想リレー



検事畑34年、司法研修所教官も務め、いま弁護士

東京鳥取県人会幹事

山本和昭

会を担当しました。公判期

最高検察部長時代に

法科大学院では、法曹を目

的で、東京鳥取県人会創立110周年にあ

った。東京鳥取県人会の益々の

成長に努めました。仲博は13歳で池田家

の養父となりました。父、仲博

が、他界した後、母の田中

が、田中が亡くなると、

田中が亡くなると、

